

キャラクター立ち絵

各キャラ最小サイズの余白で書き出しをしなくてはいけないので、手作業だと手間が掛かります。
そのためアクションを作ります。(アクション制作手順は参考までに。)

下準備

- 書き出し先のフォルダを用意する。フォルダ名はキャラクター名など。
移動することがない場所にフォルダを作るのがオススメです。
- 予め添付の1280×4510のPSDに使用するキャラクター原画をすべて配置し、原画の身長差を活かすため全キャラ足の位置を統一する。
(腕を伸ばしていたりして1280に収まらないキャラクターがいたらそのキャラクターに合わせてキャンバスを広げてOK。広げるときの基準位置は中心にする。)
<http://gyazo.com/777ece7f4a74a23ca35e1441ade3c31d>
- 書き出したいキャラクターのレイヤーグループのみ表示させる
<http://gyazo.com/75ae97e34e5efb94d817013cd57b690f>
- ここまででいったんPSDを保存して、PSDを閉じ、
再度PSDを開きます。
- 書き出したい名前(表情別・服装別など)のレイヤーを選択。ここで指定したレイヤー名が書き出したファイル名になる(今回は微笑み)
<http://gyazo.com/c0e1dc59af5494c6c50bdadb967a4c>

アクション制作

- 《アクション記録開始》
- ・表示レイヤーを結合
<http://gyazo.com/cf31c466f91244897b8761733f55424c>
 - ・スマートオブジェクトに変換(スマートオブジェクト化することによってキャラの余白最小キャンバスサイズができます)
<http://gyazo.com/e4d1e94fc6e0fad0b7ed84d4b5310aa7>
 - ・スマートオブジェクト内に入る
- 《一旦アクションを一時停止》
- ・いらない足部分を切るためにキャンバスサイズを決めます。この部分がキャラごと異なるので各キャラずつアクションを作ることになります。
2つ目のガイドラインまでの赤色の範囲が使用したい部分。
<http://gyazo.com/8595d98209b535405f23b11a198060e0>
(基本1つ目のガイドラインまでしかキャラクターが表示されることはないですが、複数キャラを並べて表示するとき2つ目のガイドライン部分までが表示されます)
- 《再度記録開始》
- ・キャンバスサイズを変更
今回のGACKTの高さは2439になります。
<http://gyazo.com/c955f82cb47dba1e1764165e7edb5320>
↓キャンバスサイズ設定後
<http://gyazo.com/cc3a1bf2105624533afbd4412d8fb140>
 - ・スマートオブジェクト内で書き出し。設定はPNG24で50%縮小。名前はそのまま予め作っておいたフォルダに書き出します。
 - ★選択したレイヤーの名前(スマートオブジェクト名)で書き出されます。
<http://gyazo.com/7c85e4c4373b6bf2f2039eda15fce392>
 - ・スマートオブジェクトを閉じる
- ・ 復帰
- 《アクションの記録を中止》
- アクション完成です。
このアクションを使用して、すべての表情・服装のパターンを書き出します。
その後書き出したファイルの名前をNameryでまとめて変更して終了です。

※スマートオブジェクト化する前に足以外を切り抜いちゃえば良い気もしますが
切ってからスマートオブジェクト化すると下部に隙間ができることがあるので、念のためスマートオブジェクト内で足を切ってます。

- [character.psd](#) (60.037 MB)  伊藤 あかね, 2014/12/08 20:44
- [Sample.zip](#) (77.691 MB)  伊藤 あかね, 2014/12/08 21:05